

第58回

貞香書展

2024. 6. 26 水 ~ 7. 7 日

(7.2~~水~~は休館日)

国立新美術館 3A 港区六本木

10:00~18:00(入場は17:30まで)

〈入場無料〉 ご高覧いただけると幸いです。

主催・貞香会

会長 赤平泰処
理事長 光谷素仙

後援・毎日新聞社

(一財)毎日書道会
(公社)全日本書道連盟

貞香会事務所

〒135-0007

東京都江東区新大橋
1-5-4-211 根本方

TEL 03(6284)0466

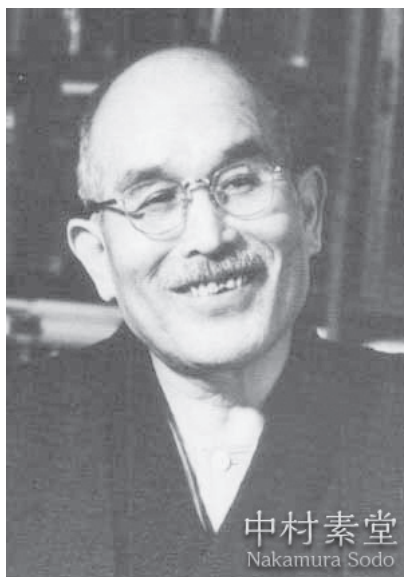
FAX 03(6284)0467

貞香会とは

貞香会は、大正12年（1923）に書文化の研究と、書芸術の創造を目指して中村素堂が創立し、今年で101年目を迎えました。この間、北京・中国美術館（1999・2005年）、台北・国立歴史博物館（1991年）等での海外展も開催してまいりました。毎年、貞香書展・貞香会総合書展を開催し昨年度は、創立100年記念展を国立新美術館で開催しました。また、毎日書道展、東方書展にも参画しております。

創設者

中村素堂（1901-1982）は、静岡県に生まれ、15歳で西川春洞の高弟・武田霞洞に師事しました。日本書道美術院、毎日書道展、東方書展の創設に参画し、書壇の再建に努めた近代日本を代表する書作家で、歌人でもあります。その書風は硬質の書を信条として、新文人主義、仏教を根底に置いた書を発表してまいりました。大正大学名誉教授で、武蔵大学をはじめ多くの教壇に立ち、後進の育成、書教育の普及にも邁進しました。また、生涯を通じて蒐集した古今の墨蹟・絵画・古写経をはじめとする系統だった書の研究資料は、後進の研究者のために一括して江戸東京博物館に収蔵されています。



第58回貞香書展入賞者

特別賞・審査会員推挙	佐怒賀昌琴	鈴木 玲香	
功 勞 賞	松田 翠心		
推 薦・会 員 推 挙	池田 紀子	長瀬 亮一	藤原 櫻泉

公募1部

■特 選

漢字多字数部門	小山真裕美	原 美鈴	小山 綾香
---------	-------	------	-------

■準特選

漢字多字数部門	中村 泰子	渡邊 智香	高橋 柳瑛	吉村 幸子	奥戸 聖斗
	中上 和美				

漢字少字数部門	井上かれん
---------	-------

■秀 作

漢字多字数部門	滋野 綾菜	大嶋 碧	古口 歩佳	香取 彩乃	松本 千尋
	早川 美紗	遠藤 史江	伊草かおり	間瀬 詩音	内山 富美
	市村 星華	江浦 蓮	渡邊 陽奈		

漢字少字数部門	佐藤 朔夜
---------	-------

■高校生奨励賞

漢字多字数部門	大塚可南子		
漢字少字数部門	上野 心音	泉田 絢音	中野 優音

公募2部

■特 選

漢字少字数部門	大田 信子	米山 聖
---------	-------	------

■準特選

漢字多字数部門	高木 唯華			
漢字少字数部門	芳田 晏奈	高橋英美子	岡本さつき	山口 和彦

■秀 作

漢字多字数部門	永井 泰幸	山本 幸三			
漢字少字数部門	山崎 虹心	廣田 陽花	栗栖 香綾	鈴木 清美	湯本 藍衣
詩 文 書 部 門	吉岡 紀子	ローゼンフェルド 冊子			

■高校生奨励賞

漢字少字数部門	二村 夏美	佐藤 芽衣	武田ゆりあ
---------	-------	-------	-------

第58回貞香書展出品者

会長

審 赤平 泰処〔東京〕「鉄樹開花」(碧巖録)

顧問

荒木 大樹〔東京〕無量寿経句

審 中村 青藍〔埼玉〕「鷗間鶴散」

審 中村 素岳〔埼玉〕「塵外孤標雲間獨歩」
(舊唐書)

参与

奥山 泰嶺〔埼玉〕中尊寺梵鐘銘一句

中谷 春徑〔東京〕和歌一首

審 松本 宜響〔栃木〕「清浄光」

若井 香樹〔東京〕井上靖詩「白龍堆」一節

参事

柏木 南城〔東京〕「別は一壺天」

加茂 泰玄〔栃木〕邵康節詩一節

中村 東泉〔千葉〕白居易詩

審 二木 秀蔭〔埼玉〕劉長卿詩

審 山根 紅樹〔東京〕厲鶚詩

理事長

光谷 素仙〔神奈川〕張實居詩

副理事長

坪内 雪山〔新潟〕白楽天詩

根本 泰邱〔千葉〕五言二句
(事務局長兼任)

事務局次長

審 飯野 彩心〔栃木〕查慎行詩

鈴木 蓮徑〔栃木〕「葉落帰根」

理事

審 飯野 柳仙〔埼玉〕李白詩

今井 泰篁〔東京〕趙汝回句

審 海野 蒼秀〔埼玉〕王維詩

審 加地 香泉〔東京〕蘇東坡詩

審 川島 栖園〔埼玉〕杜甫詩

永井 静軒〔埼玉〕土門拳のことば

中村 香柯〔埼玉〕「題花賦草鏤月裁雲」

浜瀬 碧水〔東京〕陶淵明詩一節

半田 桃香〔静岡〕高延年句

監事

大塚 澄心〔埼玉〕辛棄疾詩

長尾 泰邨〔青森〕「寂静無為」(観無量寿経)

評議員

秋田谷岱空〔千葉〕曹丕詩

石原 翠山〔東京〕張陣詩

審査会員

赤尾 真堂〔兵庫〕「無量光佛」

五野 雪香〔東京〕ルイス・デ・ゴンブラ詩

岩崎 芳穂〔茨城〕戴昺句

岩田 映洞〔埼玉〕「画龍點睛」

岩渕 響泉〔栃木〕「過則改之」

上野 泰僊〔埼玉〕杜甫詩

浦野 西萌〔埼玉〕王蒙詩

海老原綵翎〔埼玉〕夏目漱石詩

審 沖 素宮〔埼玉〕「同聲相應」

小澤 茜逕〔東京〕「龍生金鳳子」

亀和田郁芳〔栃木〕「臨淵羨魚」

倉石 芳園〔埼玉〕蘇軾詩

審 後上 菁華〔埼玉〕陸游詩

小峰 紀州〔千葉〕李白詩

近藤 朗詠〔埼玉〕李濂詩

佐藤 光華〔埼玉〕三好達治詩

鈴木 大嘉〔新潟〕「珍重」

鈴木 芳草〔埼玉〕白楽天詩

高木 素近〔東京〕寒山詩

審 高橋 珠翠〔東京〕朱應辰詩

武内 陽華〔埼玉〕五言二句

富田 青軒〔千葉〕楊萬里詩

中田 翠苑〔千葉〕蘇頌詩

審 中村 汀華〔埼玉〕「修禮盡敬」

林 澄翠〔埼玉〕一茶句

日向野光苑〔千葉〕後鳥羽上皇の歌

平澤 大廣〔栃木〕段克己詩

	藤田	彩緒	〔埼玉〕	三好達治の詩
	細田	香瑤	〔千葉〕	杜甫詩
	真下	良祐	〔千葉〕	和歌四首 (「和漢朗詠集」より)
審	三浦	看山	〔神奈川〕	高宗詩
	三上	大岑	〔島根〕	「游雲驚龍」
審	光田	秀穂	〔埼玉〕	いわさきちひろのことば
	矢口	昌華	〔千葉〕	張説詩
	山崎	香彩	〔埼玉〕	祖詠詩
	渡辺	蒼秀	〔神奈川〕	漱石詩

会員

	青木	香路	〔東京〕	張説詩
	阿部	泰悠	〔東京〕	岑参詩
	石山	心茜	〔埼玉〕	白居易詩
	今井	文子	〔栃木〕	臨 石山切伊勢集
	上坂	木蘭	〔東京〕	李郢詩
	大石	碧堂	〔静岡〕	孫逖詩
	大恵田	萌音	〔千葉〕	李白詩
	柿沼	陽和	〔埼玉〕	王維詩
	金子多恵子		〔神奈川〕	張説詩
	鎌倉	蘭径	〔千葉〕	杜甫詩
	北井	杏怜	〔東京〕	王勃詩
	北村	亭弘	〔埼玉〕	蘇東坡句
	草間	篁山	〔新潟〕	孫逖詩
	佐伯	麗子	〔東京〕	佐伯静子の歌
	佐藤	観雨	〔東京〕	臨 張遷碑
	佐怒賀	昌琴	〔埼玉〕	自詠句（二句）
	下川	翠雨	〔東京〕	潘閔詩
	白根	如雪	〔東京〕	国木田独歩のことば (「武蔵野」より)
	鈴木	玲香	〔千葉〕	沈佺期詩
	関根	熙雲	〔群馬〕	王昭君詩
	高橋	桂祐	〔埼玉〕	沈佺期詩
	富田	希	〔長崎〕	杜甫詩
	長尾	貫清	〔青森〕	錢起詩
	中島	翠音	〔静岡〕	杜甫詩
	原田	豊蘭	〔東京〕	伊藤左千夫の歌

	松田	翠心	〔東京〕	柳原白蓮の歌
	峯岸	妙観	〔東京〕	王維詩
	室井	佳鶴	〔千葉〕	西行法師の詩
	室田	彩翠	〔東京〕	命ある限り（自作詩）
	横張	瑞泉	〔茨城〕	李頎詩
	渡邊	芳香	〔埼玉〕	岑参詩

委嘱

	浅野	照雄	〔東京〕	鮑照詩
	池田	紀子	〔栃木〕	崔顥詩
	上杉	香荘	〔東京〕	釈古梁詩
	江藤	静蘭	〔東京〕	楚辞一節
	大島	翠玲	〔東京〕	范成大詩
	岡	聖紅	〔東京〕	沈佺期詩
	奥備	愛	〔栃木〕	岑参詩
	越川	淑泉	〔千葉〕	朱彝尊詩
	佐藤	史帆	〔静岡〕	岑参詩
	佐藤	穂徑	〔栃木〕	杜甫詩
	塩野	洋子	〔栃木〕	六言二句
	塩濱	花菜	〔栃木〕	柳宗元詩
	志太	恵佳	〔千葉〕	和歌六首 (「新古今和歌集」より)
	篠原	翠峰	〔東京〕	蘇東坡詩一節
	清水	天悠	〔栃木〕	「妙處不傳」
	鈴木	英男	〔栃木〕	李白詩
	関口	恵子	〔群馬〕	王維詩
	曾根	濤青	〔静岡〕	柳宗元詩
	田辺	由美	〔神奈川〕	李白詩
	塚山	清峰	〔埼玉〕	韋應物詩
	土屋	秀樹	〔千葉〕	張均詩
	壺井	翠櫻	〔東京〕	王維詩
	長瀬	亮一	〔東京〕	孫逖詩
	中村	吟有	〔千葉〕	和歌五首
	奈良田	有亮	〔埼玉〕	李白詩
	根布谷	翠紅	〔東京〕	白居易詩
	野村	佳鈴	〔千葉〕	杜甫詩
	飛田	静風	〔千葉〕	王維詩
	藤原	櫻泉	〔東京〕	李白詩

保坂 登志〔栃木〕「秋聲動沈寥」
 益本 雪華〔東京〕哲土句
 松下 彩虹〔東京〕蘇東坡詩一節
 松本 芳琇〔埼玉〕劉祁詩
 村木 香風〔東京〕吉原幸子の詩
 村山 順子〔埼玉〕李白詩
 和田 芳華〔栃木〕杜常詩
 渡邊 萌苑〔東京〕蘇東坡詩

会友

市村 星華〔栃木〕杜甫詩
 大木 珠芳〔千葉〕宋之問詩
 小山真裕美〔埼玉〕張說詩
 小山 綾香〔埼玉〕石川忠久詩
 滋野 綾菜〔栃木〕杜甫詩
 鈴木 翠鴻〔千葉〕薛稷詩
 田杭 敬心〔千葉〕張說詩
 中上 和美〔東京〕樂毅論
 長畑 裕子〔東京〕王昌齡詩
 萩原 柊花〔千葉〕張子容詩
 邊見 珠鳳〔埼玉〕李白詩
 星野 玲香〔東京〕李商隱詩
 水須 涼華〔千葉〕杜甫詩
 渡邊 陽奈〔栃木〕杜甫詩

公募Ⅰ部出品者

荒井 翔雲〔東京〕「龍飛鳳舞」
 五十嵐来美〔埼玉〕臨 中国甘肅新出土木簡選
 伊草かおり〔埼玉〕司馬光詩
 泉田 絢音〔栃木〕「渭樹江雲」
 伊東 快真〔東京〕初夜礼讃偈一節
 井上かれん〔栃木〕虞世南詩
 上野 心音〔栃木〕「神怡心静」
 内山 富美〔静岡〕杜甫詩
 江浦 蓮〔東京〕寒山詩
 遠藤 史江〔東京〕王維詩
 大河内秀丸〔東京〕陶淵明詩一節
 大嶋 碧〔埼玉〕王維詩
 大塚可南子〔栃木〕文森詩
 大村 義彰〔東京〕「魔悪修善」
 奥戸 聖斗〔埼玉〕史鑑詩
 香取 彩乃〔東京〕岑參詩
 樺澤 未宥〔東京〕杜甫詩
 古口 歩佳〔栃木〕陳子昂詩
 小森谷百合子〔埼玉〕干謙詩
 近藤 涼也〔埼玉〕副島蒼海詩
 佐藤 朔夜〔埼玉〕臨 楊大眼造像記
 進藤 靖子〔神奈川〕李白詩
 田尾紗奈江〔東京〕李白詩
 高橋 柳瑛〔愛知〕李白詩
 中野 優音〔栃木〕「雲高気静」
 中村 泰子〔埼玉〕呉蘭雪詩
 西田 咲〔埼玉〕王翰詩
 早川 美紗〔栃木〕李白詩
 原 美鈴〔神奈川〕柴野栗山詩
 間瀬 詩音〔埼玉〕高詠詩
 松本 千尋〔栃木〕王維詩
 湯本 彩愛〔埼玉〕柳原白蓮詩
 吉村 幸子〔埼玉〕程明道詩
 渡邊 智香〔栃木〕杜甫詩

公募Ⅱ部出品者

池上 智子	〔東京〕	陸放翁句
今泉 達稀	〔東京〕	韋莊句
大田 信子	〔東京〕	「花無心招蝶」
岡本さつき	〔埼玉〕	劉張卿句
片嶋 常隆	〔栃木〕	太上隱者詩
栗栖 香綾	〔千葉〕	李賀詩
斎藤 龍生	〔群馬〕	宋楽詩
佐藤 芽衣	〔東京〕	臨 九成宮醴泉銘一節
鈴木 清美	〔千葉〕	杜甫句
高木 唯華	〔東京〕	臨 蘭亭序一節
高橋英美子	〔東京〕	鮑溶句
瀧澤 理子	〔埼玉〕	何希堯詩
武田ゆりあ	〔埼玉〕	「芳草雨昏春夢寒」
永井 直子	〔東京〕	愈德鄰句
永井 泰幸	〔栃木〕	王昌齡詩
廣田 陽花	〔埼玉〕	史蕭句
二村 夏美	〔埼玉〕	臨 書譜一節
前原 英子	〔東京〕	内藤鳴雪句
村田 良苑	〔千葉〕	王維詩
谷田部修養	〔栃木〕	王昌齡詩
山口 和彦	〔栃木〕	杜甫詩
山崎 虹心	〔千葉〕	李白詩
山本 和子	〔東京〕	七言二句
山本 幸三	〔東京〕	王維詩
湯本 藍衣	〔埼玉〕	袁枚詩
吉岡 紀子	〔神奈川〕	枕草子一節
芳田 晏奈	〔東京〕	朱應辰詩
米山 聖	〔神奈川〕	梁潛句
ロゼツル 朋子	〔東京〕	三島由紀夫「金閣寺」より
渡邊 彩華	〔東京〕	王安石詩一節



会長 赤平泰処



顧問 荒木大樹



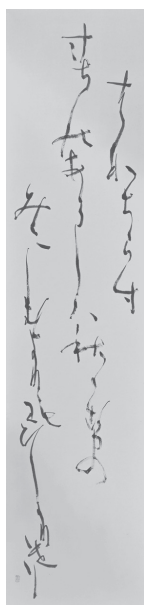
顧問 中村青藍



顧問 中村素岳



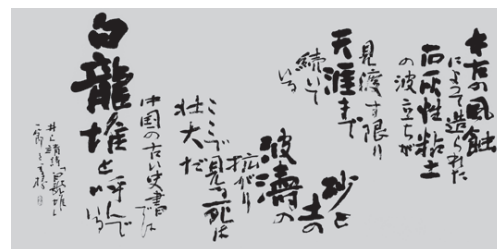
参与 奥山泰嶺



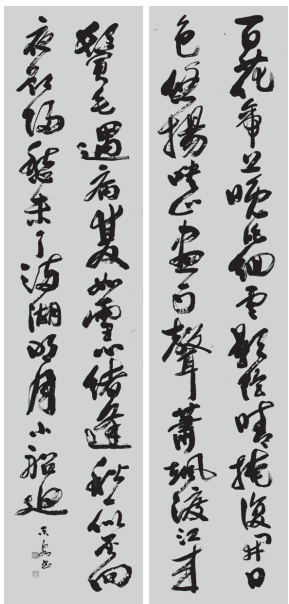
参与 中谷春径



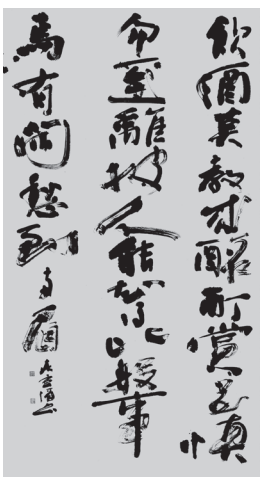
参与 松本宜響



参与 若井香樹



参事 中村東京



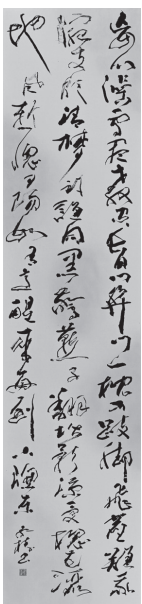
参事 加茂泰玄



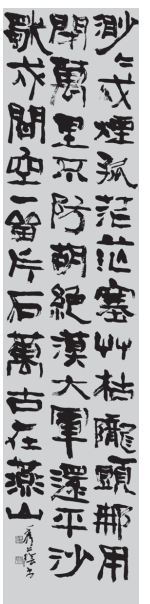
参事 柏木南城



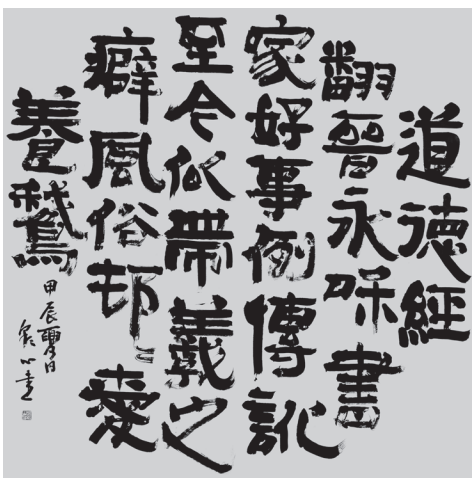
理事長 光谷素仙



参事 山根紅樹



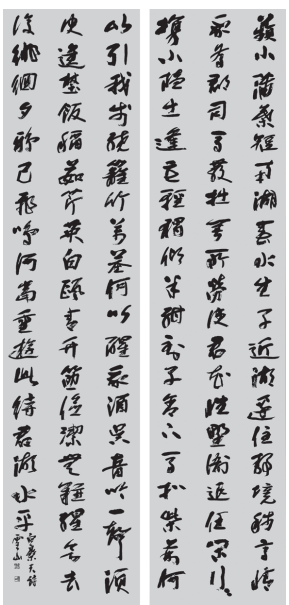
参事 二木秀蔭



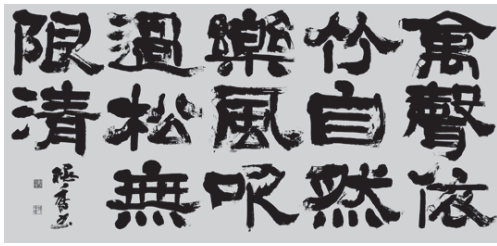
事務局次長・理事 飯野彩心



副理事長・事務局長 根本泰郎



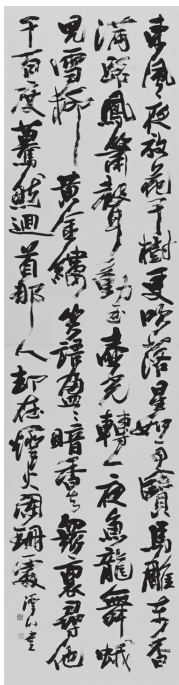
副理事長 坪内雪山



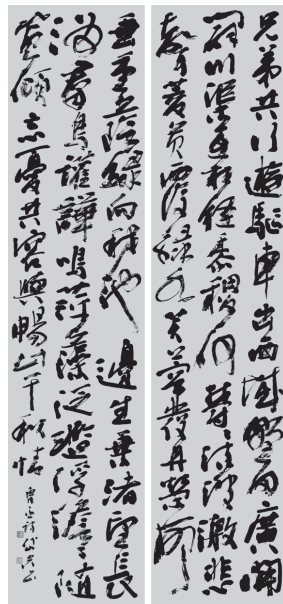
理事 半田桃香



監事 長尾泰邨



監事 大塚澄心

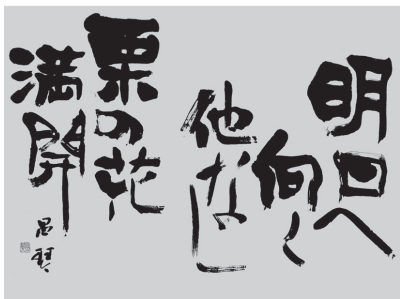
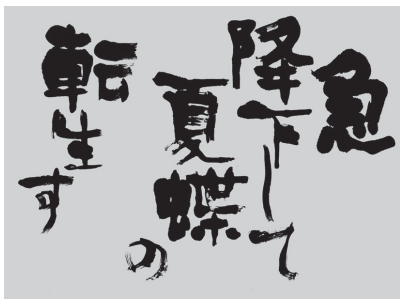


評議員 秋田谷岱空

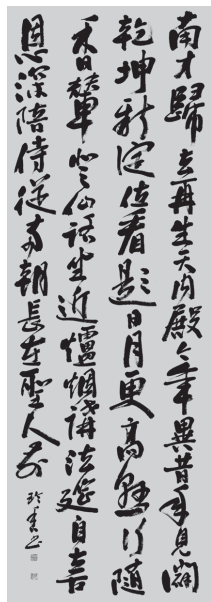


評議員 石原翠山

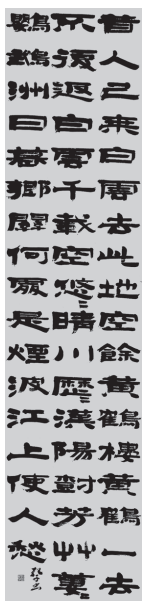




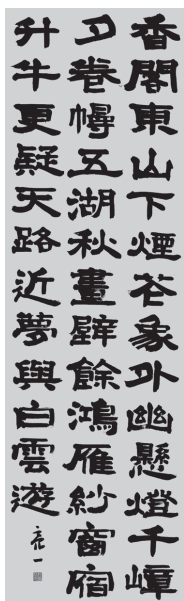
特別賞・審査会員推挙 佐怒賀昌琴



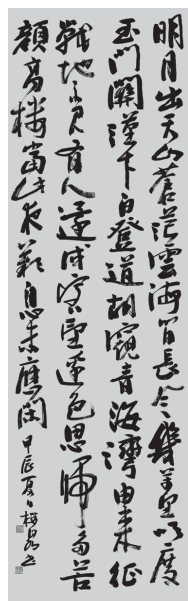
特別賞・審査会員推挙 鈴木玲香



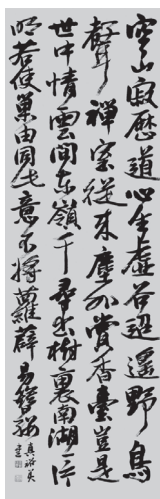
推薦・会員推挙 池田紀子



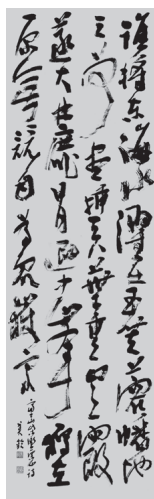
推薦・会員推挙 長瀬亮一



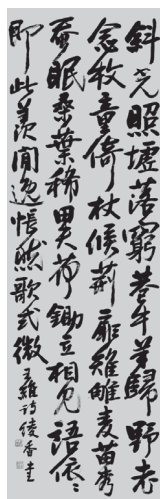
推薦・会員推挙 藤原櫻泉



公募1部特選 小山真裕美



公募1部特選 原美鈴



公募1部特選 小山綾香

貞香書展

◆貞香書展は、会員展と公募展で構成されています。

◆公募部門には、年齢満15歳（高校生）以上の方どなたでも第1部・第2部どちらかに出品することができます。

◆作品の大きさで第1部・第2部に分かれ、それぞれに、漢字多字数部門（21文字以上）・漢字少字数部門（1～20文字）・仮名部門・詩文書部門があります。

◆作品の表装など取扱の全般を指定表具店に依頼しています。



貞香会総合書展

◆貞香会総合書展は、会員展と公募「書範展」で構成されています。

◆公募「書範展」にはどなたでも出品できます。◇一般部：高校生以上、1人1点 ◇教育部：幼児・小学生・中学生、1人1点 ◇半紙部：どなたでも何点でも

◆出品料は次の通りです。◇一般部：14,000円（大学生12,000円・高校生10,000円）※標準軸装代含む ◇教育部：3,500円（※仮巻ベタ貼り表装代含む）◇半紙部：800円（※裏打ち代含む）

◆'25貞香会総合書展の会期は2025年1月20日(月)～26日(日)まで。東京都美術館（ロビー階第3展示室・ギャラリーA）で開催します。

◆公募「書範展」作品の取扱全般は貞香会書範部が行います。

洗碑会

創設者・中村素堂生誕日の5月2日に東京小石川・伝通院にある中村素堂記念碑(「如是我聞」碑)前で催される先師の遺徳を讃える会です。全国から子弟・関係者が集まり、碑文を前に書作への思いを新たにします。記念碑は、開門時間中はいつでも拝観できますので、お近くにおいでの際はお気軽にお立ち寄りください。

(伝通院 URL：<http://www.denzuin.or.jp>)



講演会

貞香会では貞香書展の会期中に講演会を開催しています。本年度は、台東区立書道博物館長 鍋島稲子先生をお招きして、「呉昌碩と日本人」という演題でご講演いただきます。



(1013年撮影)

近年の講演会開催実績（※講師の先生方の所属等は、講演当時のものです。）

- 2023年 小川博章先生(淑徳大学人文学部教授)「全形拓本の様相」
- 2022年 六人部克典先生(東京国立博物館学芸研究部調査研究課東洋室研究員)
「中国書画コレクションの伝統と日本」
- 2019年 恵美千鶴子先生(東京国立博物館百五十年史編纂室長)「平安時代の書の美」
- 2018年 高橋利郎先生(大東文化大学教授)「近代日本の書」
- 2017年 笠嶋忠幸先生(出光美術館学芸課長)「古典鑑賞と書作」
- 2016年 鍋島稲子先生(台東区立書道博物館主任研究員)
「中村不折と書道博物館コレクション」
- 2015年 大西克也先生(東京大学教授)「楚簡・秦簡より見た戦国時代の漢字について」
- 2014年 富田淳先生(東京国立博物館学芸研究部列品管理課長)
「書譜と黄州寒食詩巻―台北故宮博物院の名跡から―」
- 2013年 名児耶明先生(五島美術館学芸部長・東京学芸大学非常勤講師)
「仮名の散らし書きと日本美」
- 2012年 伊藤滋先生(東京学芸大学非常勤講師・岐阜女子大学特別客員教授)
「日本に所蔵される名帖～碑法帖拓本の世界～」
- 2011年 島谷弘幸先生(東京国立博物館副館長)「書の変遷 その必然性と未来」
- 2010年 杉村邦彦先生(京都教育大学名誉教授・書論研究会会長)
「多胡碑の朝鮮・中国への流伝とそれにかかわった人たち」

競書誌『書範』

- ◆貞香会の競書誌で毎月1日に発行されています。創設者中村素堂先生の随筆や、貞香会関係の展覧会情報などが掲載されています。ぜひご一読ください。
- ◆詳細については、貞香会事務所までお問い合わせください。
〒135-0007 東京都江東区新大橋1-5-4-211
TEL：03-6284-0466



展覧会のご案内

令和 6 年(2024)

○第75回 毎日書道展(東京展)

会場：国立新美術館 会期：7月10日(水)～8月4日(日)

※毎週火曜は休館日。毎週水曜は、午後1時開会。

入場は閉会30分前まで

会場：東京都美術館 会期：7月18日(木)～7月24日(水)

※18日は正午開幕、入場は閉会30分前まで。

○松本宜響書道展ならびに一門展

会場：栃木県総合文化センター 第4ギャラリー 会期：9月16日(月)～18日(水)

○第38回 西蓮会書展

会場：銀座かねまつホール 会期：10月11日(金)～15日(火) 11:00～18:00

○第55回 墨光書展

会場：春日部市民文化会館 会期：10月17日(木)～20日(日) 10:00～18:00

令和 7 年(2025)

○'25貞香会総合書展 会員展・書範展

会場：東京都美術館 会期：1月20日(月)～1月26日(日)

書範展にはどなたでも出品できます。詳細は11頁をご覧ください。

本日は第58回貞香書展にご多用中にもかかわらずご光来賜りご懇情をいただき誠にありがとうございました。皆さまのお言葉を励みに会員一同書の道に精進してまいります。

今後ともご指導のほどよろしく願いいたします。本来ならば拝眉の上ご挨拶申し上げるべきところ、御礼とさせていただきます。

令和 6 年 6 月26日
第58回貞香書展出品者一同

